

学生と教員の 見方

【学生の見方&考え方】

(4年大漢醫)

千葉県流山市はつくばエクスプレスの開通によって、都心へのアクセスが便利になり、駅周辺の宅地開発も行われ、移住者が増加した。そうした中、市子育で支援策を充実させた。今回はその中でも、小学生の親向けの政策に関して言及したい。

子育てにやさしいまちづくり③

小学生の親向けの支援策は、①児童館・児童センター・学童クラブの充実、②小・中学校の新設の2点がある。一点目に関して、現在、流山市内に児童館・児童センターは9カ所あり、概ね2つの小学校区に1つの施

設がある。施設内では、低帯も学童を利用してできるよう学年向けのおそびっこクラブや金学年を対象とした工作イベントなどが行われていて、学童クラブは小学校ごとに設置されており、待てる。

機児童はおらず、定員に達した場合でも支援員を増員するとしている。こうした

小学

流山

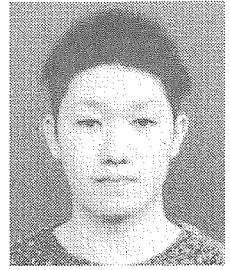
小学生の親向け支援策

流山市 学区整備、預け先拡充など

センター、学童クラブの充
流山市には19の公立小学校
兄弟姉妹が同じ学校に通学
実は、共働きの親にとって
がある。そのうち児童数が
できるように対策を講じて
助けとなるだろう。しかし、
1000人を超える学校が
いるとのことだ。

市が行った調査では、児童館を増やしてほしいといった意見が出ており、また、筆者が行ったアンケートでも、働いていない子育て世帯も、働いていない子育て世帯。新設に伴い学区が変

4校、一番多い学校で1700人もの児童がいる。このように、流山市は子
育て支援を充実させ人口増加を実現しているが、その裏で増加する児童数に対応できる教育施設の設定、適



【アピールポイント】
休日アニメやドラマを見ています。お気に入りの作品を見つけ、ゆっくり楽しむ時間が大好きです。

切な学区の設定という課題が生じている。

【教員による展開】

(西村愛准教授)

上述でも分かるように、
学童を利用したいという世

帯は多いが、学童には定員があり、希望しても入れずに自宅待機をせざるを得ないケースや、既存施設だけでは受け入れが不十分なケースもある。このような場合に、子どもの預け先の問

が、見つからなかったという。このため、市などの支援によって利用者を募集し、全国で放課後児童クラブを運営するNPO法人が借り主となり、開所することが決まったそうだ。

題が浮上し、親が仕事を休んだり、在宅で調整したりする事態となることもある。市内では共働き・ひとり親世帯の増加に伴い児童クラブに通う子ども向け施設の開所が必要になっていった背景がある。

る。こうした学童施設の増設の問題と、一方で近年、不動産分野の深刻な問題である空き家の増加問題を同時にうまく解決している事例を挙げてみたい。

事例は、市が進める空き家の支援策で活用が実現していると言えよう。